

桃山学区防災ミーティング・活動報告 NO.1

10月に開催予定の全体ミーティングの企画について打ち合わせをしました。

R1.8.7(水) 20:00～ 桃山コミセン 談話室
防災ミーティング2名 健サポ 7名

第3回防災ミーティング(防災研修会)打合せ

- ①日程、場所、参加者等は防災研修会案の内容を基本として準備を進め、日程は学区運動会日なので調整が必要。
- ②計画を進めるにあたっては防災ミーティングの世話人会議に諮る必要がある。
- ③運営方法はグループによるミーティングを中心に組み立てを行い、外部講師から、話し合いの内容に対するコメントを貰う構成を考える。
- ④外部講師は今回テーマの「災害時の避難」を理解しておられる専門家？に打診する。
- ⑤グループでの話し合いのテーマは避難に関する項目に絞って行うことにし、取り組みやすい内容を検討する。
 - * 避難者: 避難への備えや持ち物は？
 - * 町内会: 避難する人の把握、手助けは？
- ⑥健サポと防災ミーティングのメンバーでは視点や意識の違いがあるので話し合いをリードするときに配慮が必要になる。
- ⑦避難のことを紹介する資料の配付、話し合いの進行、話あった結果を「地域防災計画」に取り入れることなどを説明する。
- ⑧当日は都市センターの現地視察の担当者が来られるので日程が固まった段階で連絡が必要。



防災研修会(案)

1. 日時	令和元年10月 25日(金) 19:00～21:00
2. 場所	桃山コミセン 会議室
3. 参加者	桃山学区防災ミーティング 桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会
4. 目的	災害時の避難について学ぶ (地域防災計画づくりの基礎資料とする)

5. 研修会の運営
(1) 地域防災計画の骨子について説明と質疑応答
(2) 地域防災計画に盛り込む「避難者支援」について、グループ別の話し合いをする。 <ul style="list-style-type: none">① 初めに、桃山学区における避難の想定を説明したうえで、話し合いを開始する。② 研修会参加者がグループに分かれ、進行役、まとめ役、発表者等の分担をあらかじめ決めて、話し合いを開始する。③ グループでの話し合いテーマの案<ul style="list-style-type: none">I 避難者の準備<ul style="list-style-type: none">避難するときに必要なことは何か(持ち物、心構えなど)II 避難者の支援<ul style="list-style-type: none">町内の防災会は避難希望者の支援ができるか④ 話し合いの結果などは内容整理したうえで、地域防災計画(防災計画・防災マニュアル)の中へ取り入れる。

桃山学区防災ミーティング・活動報告 NO.2

桃山学区避難所開設訓練に参加しました。

R1.8.24(土) 9:30~12:00 神沢中学校特別活動室
全参加者 40名 (防災ミーティング9名)

今回の避難所開設訓練は緑区が学区ごとに行う避難所の開設・運営スタッフ向けの訓練で、学区内に3か所ある指定避難所のうち神沢中学校が会場になりました。

防災ミーティングでは地域の避難所の準備状況を確認したり、住民の避難方法を考える際に大事なことなので、勉強させてもらう立場で近隣の町内会のメンバー8名が参加しました。

訓練内容は、運営マニュアルDVDの視聴、開門方法の確認、使用施設の確認、無線操作、備物資の確認、給水施設の操作、感染症予防・エコノミー症候群対策の実習(健サポ)など一杯ありました。

今回の参加で、防災活動の必要性や避難における課題等を再確認することができました。

参加者からは、「避難所のことを多くの人にもっと知ってもらふ必要がある」「実際にうまく運営されるのか不安」といった声もありました。

今回、避難所の準備状況を見て、これまで意識していなかった避難所の取組や課題などを知ることが出来たことなど多くの収穫があり、今後の防災計画づくりの参考にできると思われます。



近隣の町内会から8名で参加



校内の使用施設を確認



地下式給水栓の操作



備蓄物資の保管状況を確認



「健サポ」によるエコノミークラス症候群
予防体操の実体験